

没後450回忌・生誕500年記念

謙信公の 実像に迫る

— 最新の研究で見えてきた成果から —

第35回記念として、家祖(藩祖)である上杉謙信公について初めて取り上げます。第30回で予定していましたが、開催直前にコロナ禍で中止しましたので、改めて今回、同じテーマ、同じ講師陣で迫ってまいります。

来年の没後450回忌、2030年の生誕500年を控え、上杉博物館では特別展が相次いで開催され、上杉神社「稽照殿」でもゆかりの品々の修理や展示が行われて、市民の関心も広がっています。

「謙信には妻がいた!」など、5年経って更に新たな研究課題も出ています。地元の阿部先生、上越市の福原先生の講演内容にご期待ください。

第35回
記念

鷹山公シンポジウム

米沢四季のまつり・秋まつり事業

講演 1

「上杉謙信の
出世と書状」 阿部 哲人 氏

講師 / 米沢市上杉博物館学芸員

講演 2

「上杉謙信の妻」
— 最新の研究からみる謙信の家族 — 福原 圭一 氏

講師 / 上越市公文書センター所長

日時 令和8年 8月30日(日) 午後1:00開場
午後1:30～午後4:20

会場 伝国の杜 置賜文化ホール

入場無料
事前申し込み
不要

主催 「上杉鷹山公と郷土の先人を顕彰する会」

協賛 米沢四季のまつり委員会 / 共催 米沢市・米沢温故会
後援 米沢市歴史団体連絡協議会・米沢市芸術文化協会

お問い合わせ
090-2027-4572 (高橋)